

男子ホッケー チャンピオンズチャレンジ I 2014

日 付	2014年4月26日 17:00~18:20		
場 所	マレーシア・クアantan	天 候	晴れ
試 合	第1戦	通算結果	日本 1勝

Country

日本
JAPAN

RESULT

Full Time	3	-	2
Half Time	1	-	2

Country

ポーランド
POLAND

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	高瀬克也(GK)			
7	3	粥川幸司(C)	24		
4	4	佐々木拓郎			
✓	5	塩川直人			
5	6	河内伸仁			
✓	7	小野知則			
4	8	北里謙治			
✓	9	藤本一平			
✓	11	川上啓		41	
✓	14	長澤克好			
✓	15	山下学			
✓	16	畠山学			
4	18	井島光希			
✓	23	坂本博紀			
✓	29	山部晃嗣			
4	30	吉原平太			
	31	森嶋彬(GK)			
✓	32	橋敏郎			
Coach		姜建旭			
監督		藤原信幸			
UMPIRE		UYTTENHOVE Gregory(BEL)			

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	MATUSZAK Arkadiusz (GK)			
5	4	RACINIEWSKI Michal			
✓	7	GÓRNY Tomasz			
11	9	SELLNER Sebastian	30		
✓	10	WEIDE Philipp			
	12	DOMACHOWSKI Lukasz (GK)			
✓	13	WACHOWIAK Tomasz			
✓	14	ZYWICZKA Bartosz	40		
6	16	CHWALISZ Adam			
✓	17	MAKOWSKI Krystian			
6	20	NOWAKOWSKI Michal			
✓	22	MAJCHRZAK Karol			
✓	23	KOZLOWSKI Piotr			
5	25	KROKOSZ Adrian	48		
6	26	KASPRZYK Michal			
✓	27	BRATKOWSKI Pawel (C)			
✓	29	POLTASZEWSKI Michal			
✓	30	POLTASZEWSKI Mateusz			
Coach		SNIEZEK Karol			
監督		CICHY Tomasz			
UMPIRE		KANABATHU Ilango(MAS)			

Team	Minute	Name	Action	Score
POL	7	RACINIEWSKI Michal	FG	0-1
JPN	8	粥川幸司	FG	1-1
POL	29	KROKOSZ Adrian	FG	1-2

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	50	藤本一平	FG	2-2
JPN	61	坂本博紀	PC	3-2

チャンピオンズチャレンジ I 2014初戦は世界ランキング18位ポーランドとの対戦である。第1試合に続きこの試合でも、マレーシアの猛暑を考慮し、試合の前後半それぞれ17分30秒で試合を止め(試合の再開は前後半同じチームのセンターパスにより開始)、2分間の休憩時間を設けるという措置がとられた。

(前半)

日本は7分ポーランドにライトからドリブルでのサークルインを許すと、プッシュシュートから先制点を決められる。8分日本は北里がライトからドリブルインを仕掛けると、最後はゴール前の粥川がタッチシュートを決め、すぐに試合を振り出しに戻す。その後は膠着状態が続くが、29分ポーランドはレフトのセンタリングから日本のサークル内にボールを流すと、混戦の中からポーランドの放ったやや打ち損じたシュートは、詰めていたGK高瀬の頭上を越えてゴールに吸い込まれる。日本はその後チャンスが何度か訪れるが、得点を奪うには至らず、1点のリードを許して試合は後半へ。

(後半)

後半立ち上がりには日本は何度もポーランドゴールに迫り、44分レフトのコーナーから河内がリスタートを仕掛け、最後は吉原のドリブルインからPCを得るが、長澤のゴール左下へのドラッグフリックシュートはGKに阻まれる。その後も日本はポーランド陣内に何度も攻め込み、50分中盤でのカウンターからサークルに侵入しシュートを放つと、ポーランドDFが慌てて中央へクリアしたボールを藤本がサークルトップで奪い、そのままリバースシュートをゴール左上に突き刺し、同点に追い付く。その後両チームの攻撃は得点を奪うために加速し、攻守の切り替わる展開となる。61分日本はカウンターから中盤でボールを受けた坂本がサークルへボールを打ち込むとPCを取得。これを北里が敵の1番騎・2番騎を上手くかわしプッシュシュートを放つと、GKに当たり空中に浮いたリバウンドボールを坂本が落ちて着いてゴールに流し込み、日本は遂に逆転に成功する。何とか同点に追い付きたいポーランドは試合終了間際の68分にロングボールの打ち込みからPCを取得する。日本はこのPCから立て続けに3本のPCを与えてしまうが、1番騎の山下とGK高瀬の好セーブにより得点を与えない。このまま3-2で試合終了。

日本は特に前半は苦しんだものの、後半は本来の力を発揮し初戦を白星で飾った。

なお、この試合のマン・オブ・ザ・マッチに同点ゴールを奪った藤本が選出された。

日本	11	シュート数	7	ポーランド
	2	PC数	4	

次戦(第2戦) 4月27日(日) 15:00 ~ 日本対ニュージーランド

記載責任者:男子コーチ 藤原 信幸